



創立 60 周年 記念誌

JCI Junior Chamber International Matsue
公益社団法人 松江青年会議所



CONTENTS

ごあいさつ	2
祝辞	3
松江JCの原像	8
55年のあゆみ	9
歴代理事長名とスローガン	12
2011年度から5年間のあゆみ	13
創立60周年記念式典・祝賀会・記念事業	24
表彰受賞歴	30





The Creed of Junior Chamber International

We Believe :

That faith in God gives meaning
and purpose to human life ;
That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won
by free men through free enterprise;
That government should be of laws
rather than of men;
That earth's great treasure lies in
human personality; and
That service to humanity is the best
work of life

JCI Mission

To provide development opportunities
that empower young people
to create positive change.

JCI Vision

To be the leading global network of
young active citizens.

JC 宣言

日本の青年会議所は
混沌という未知の可能性を切り拓き
個人の自立性と社会の公共性が
生き生きと協和する確かな
時代を築くために
率先して行動することを宣言する

綱領

われわれ J A Y C E E は
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者、相集い、力を合わせ
青年としての英知と勇氣と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

松江JCビジョン

全ての人が松江を更に愛せるよう
運動を展開します。

松江JCミッション

【邁進】

地域の課題を調べ、
解決に向けて果敢に挑みます。

【追求】

指導力と運営力に磨きをかけ、
会員の資質向上に努めます。

【縁】

世界と松江の更なる架け橋となり、
相互の理解を深めます。

平成27年12月10日制定

松江JCビジョン・ミッション

< 解説 >

松江JCビジョンは、松江青年会議所のあるべき姿です。松江JCビジョンのために、松江JCミッションを実行します。

松江青年会議所は、創立から半世紀以上の長きに渡る先人のご尽力により、松江を素晴らしいまちへと発展させてまいりました。その運動を受け継ぎ、より素晴らしいまちにするために、私達は、地域における多くの課題の中から、私達が取り組むべき課題を選択し、解決に向けて果敢に挑まなければなりません。また、松江という地域の価値を高め、さらに松江を愛する人を増やすためには、私達が率先して行動できる市民となる必要があります。私達自身の成長も、より素晴らしいまちにするための重要な資源であることを認識し、指導力と運営力に磨きをかけ、会員の資質向上に努めなければなりません。

「私達は何をするべき団体なのか」ということを会員がしっかりと認識し、松江青年会議所の強みと松江という地域が持つ潜在能力を引き出し活かしていく必要があります。松江青年会議所の持つ強みは、強固な結束力、グローバルネットワーク、先人の功績であります。松江という地域が持つ潜在能力は、全国で3つの都市しか認められていない国際文化観光都市であるという点です。国際文化観光都市の市民として相応しくあるために、松江青年会議所の先人は松江市民憲章を提言しました。近年、松江青年会議所は国際の機会を提供するような世界に関わる事業を行っていません。私達は、先人の功績を引き継ぎ、さらに力強く乗り越える気概を持ち行動することが必要です。

現在、私達のように地域のために活動する団体は数多く存在します。そのような中で、私達は、松江青年会議所にしかない強みと松江の潜在能力を活かし、広い視野を持って私達にしかできない提案をし、松江の価値をさらに高める必要があります。そして、松江に関わる全ての人が松江を愛せるよう運動をしていくことこそ、松江青年会議所としてのあるべき姿なのです。



秋鹿 修

公益社団法人
松江青年会議所
第61代理事長

「虚無の時が流れ失意の時が去り、そして今われわれは新しい希望と情熱を抱いて出発しなければならぬ時が来たのであります。すなわち、われわれ青年だけが次の時代の方向を決定する力を持っているからであります」

1956年10月、希望と熱意溢れる設立趣意書のもと、広島青年会議所様の力強いスポンスにより全国で100番目の青年会議所として松江青年会議所は誕生し、本年で創立60周年という大きな節目を迎えることができました。これもひとえに地域の皆様をはじめ行政、関係諸団体の皆様、各地会員会議所の皆様のご支援、ご協力の賜物であり、そして創立以来、高い志をもってこの地で60年もの長きにわたり青年会議所運動に邁進してこられました先輩諸兄の御蔭であると心より深く感謝申し上げます。

創立から60年が経ち私達を取り巻く環境は大きく変わりました。その間、先輩諸兄は「修練・奉仕・友情」というJC三信条のもと、明るい豊かな社会の実現に向けて脈々と運動を受け継いでこられました。この運動のうねりを止めることなく、次世代へ継承していくことが私達の責務であります。昨年度策定しました「松江JCビジョン・松江JCミッション」を行動指針に掲げ、地域の諸問題に果敢に挑み、指導力と運営力に磨きをかけ、世界との架け橋となり全ての人が更に松江を愛することができるよう歩みを進めていく所存であります。

最後になりましたが、創立以来これまで松江青年会議所に頂きましたご厚情に感謝を申し上げるとともに、今後とも皆様方のご理解とより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



西村 圭介

公益社団法人
松江青年会議所
60周年実行特別委員会
実行委員長

公益社団法人松江青年会議所は1956年、一般社団法人広島青年会議所様のご支援のもと、全国で100番目の青年会議所として誕生致しました。創立以来、60年の永きに渡る先輩諸兄のご尽力により、また、市民の皆様、行政の皆様、関係団体の皆様、各地会員会議所の皆様にお支えいただき、60周年を迎えることが出来ました事、心より御礼申し上げます。

公益社団法人松江青年会議所の設立趣意書の一節に「青年だけが次の時代の方向を決定する力を持つ」という言葉があります。60年前の先輩諸兄は次の時代は自分たちで創るという強い気概と覚悟を持って青年会議所運動に邁進されました。創立60周年を迎えるにあたり、今一度、創立の精神に立ち返り、松江の未来について真剣に考える一年にしたいと考え、創立60周年のスローガンとして「信念 強い想いが次代を創る、果敢に挑め己を信じて」を掲げさせていただきました。

そして、その成果を皆様の前でお示しする機会としまして、記念事業の一つとして「まつえ水都祭2016」を開催させていただきました。まつえ水都祭2016では、宍道湖の水辺に触れていただける機会を提供し、水辺を利用した新たな松江のまちづくりを提案させていただきました。当日は多くの皆様にご来場いただき、松江の新たな魅力を感じていただき、未来に対して希望を抱いていただけのきっかけになったと感じております。

公益社団法人松江青年会議所は今後も時代に合わせ、市民の皆様にも求められる役割をしっかりと果たし、地域の発展に積極的に貢献して参ります。今後とも、関係各位、各地会員会議所、先輩諸兄の温かいご理解とご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。



溝 口 善兵衛

島根県知事

公益社団法人 松江青年会議所におかれましては、このたび創立60周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

松江青年会議所は、創立以来、「明るい豊かな社会」の実現を目指して、人づくりや青少年の育成、地域文化の振興など様々な活動を通じて、地域社会の発展に大きく貢献してこられました。皆様のご尽力に深く敬意を表します。

さて、日本経済は、新興国の景気減速懸念や英国のEU離脱問題の影響による金融市場の変動など、引き続き、先行きに注意が必要であります。県内経済につきましても、このような情勢から、注意が必要な状況が続いております。

このような時こそ、地域の持つ強みに磨きをかけ、地域の振興に全力をあげて取り組んでいかなければなりません。

ここ松江の地には、豊かな自然や古き良き文化・歴史、温かい人間関係や地域社会などが残されております。また、高度な技術を有する企業や安全安心な農林水産物、多くの方を魅了する観光資源など多彩な地域資源があります。

皆様には、松江地域をはじめ島根の今後を担われるリーダーとして、これらの資源を活用しつつ、魅力ある地域の創造にその力を発揮されることを期待しております。

さて、県では、昨年策定した「総合戦略」により、産業振興による若い人たちの働く場の確保や、全国的にも先進的な子育て支援などを推進しております。

青年会議所の皆様には、創立60周年を契機に、新しい時代の地域づくりに向けてさらに飛躍されますとともに、「総合戦略」に沿って展開する県の各施策へのご協力をよろしくお願い致します。

終わりに、公益社団法人松江青年会議所の益々のご発展と、皆様のご健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。



松 浦 正 敬

松江市長

公益社団法人松江青年会議所が創立60周年を迎えられることを心からお慶び申し上げます。

ここにその歩みを振り返り、新しい時代へのさらなる発展と飛躍をめざし記念誌を発刊されますことは、誠に意義深いことと存じます。

松江青年会議所は、昭和31年の設立以来、松江を“明るい豊かな社会”にしたいという情熱を持った青年が集い、ふるさと松江のため、文化・経済・環境問題などさまざまな角度から松江のまちづくりを考え実践してこられました。

松江の一大イベントである松江水郷祭での「松江だんだん」では、例年大人から子どもまで楽しめる企画・運営により、水郷祭を盛り上げられ、また未来を担う子どもたちが地域のことを考える人財に育つよう「ひとづくり」に取り組まれていることに深く敬意を表するとともに感謝申し上げます。

さて、日本が人口減少時代に突入する中、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生できるよう取り組んでいかなければなりません。本市におきましても昨年10月に「松江市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン第1次総合戦略」を策定いたしました。「地方創生」への取組は、市民の皆様、一人一人が人口減少に対する危機意識を持ち、総合戦略に掲げた目標を共有し、それぞれの立場で何ができるのか考え、具体的な行動を起こしていくことが重要だと考えます。

市民の皆様と共に考え、共に実践する「共創」の手法で総合戦略を推進し、地方創生の要となる「ひとづくり」「地域・コミュニティづくり」を進めることで、「市民運動」として取組を広げてまいりたいと考えています。

長年にわたり地域社会を支えてこられました松江青年会議所の皆様方の存在は大変心強いものと感じています。今後とも、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、松江青年会議所が創立60周年を契機とし、未来への活気に満ちた地域づくりの推進役としてのますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

祝 辞



古瀬 誠

松江商工会議所
会 頭

創立60周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

松江青年会議所様におかれましては、昭和31年の設立以来、ふるさと松江を明るく豊かな社会にしたいという情熱を持ち、その情熱を次世代へ継承すべく使命を持って活動し続けられました。

国際青年会議所のメンバーとして各国の青年会議所と連携し、世界を舞台にした活動も展開しておられ、国を越え世代を超えたその並々ならぬ努力に対し、敬意を表するところでございます。

また、松江青年会議所様は松江の未来を創造していくことが自身の責務であるという認識を常に持たれ、郷土を愛し、希望の持てるまちにしていくために、まちづくりや賑わいの創出に繋がる事業を企画・展開しておられます。

松江商工会議所もその思いに通じる場所がありますが、近年は中海・宍道湖・大山圏域をめぐる5市がそれぞれの特徴を活かし、世界に発信できる圏域66万人の人口を持つ魅力ある都市を目指していきたいと考え、5市長会と中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会とが連携して実績を積み重ねています。その中で、松江市が最大のポテンシャルを引出せるよう、松江青年会議所様とともに活動をしていきたい所存でございます。

松江青年会議所様の今後ますますの発展を心より祈念いたしますとともに、この60周年が、新たな時代へと飛躍する大きな節目となりますことを期待いたします。



山本 樹育

公益社団法人
日本青年会議所
会 頭

公益社団法人松江青年会議所が創立60周年を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。また、貴青年会議所のこれまでの歴史を築いてこられた先輩諸氏の皆様、現役会員の皆様に深く敬意を表します。

日本の青年会議所運動は、祖国の国際社会への復帰と経済復興の大義を掲げた青年経済人によって興されました。我々の先輩が今に至るまで積み重ねた実績こそが、その大義が見事に果たされたことを雄弁に物語っています。

私たちも、平成の建国とも言うべき新時代の岐路に立つ今、時流に身をゆだねるのではなく、根本的に発想を転換したうえで、新しい価値観とシステムを打ち出し、今しかできない、今だからこそできることを全うし、地域をより良い形で次世代に遺していかなければなりません。

青年会議所の運動の現場は常に地域にあり、国づくりの根本は地域の再興にあります。それぞれの地域において、青年会議所が「志」を掲げ、「志」に対する共感を結集させ、あらゆる主体者との連携を深め、個別の実情に応じて未来を切り拓いていかなければなりません。

貴青年会議所におかれましても、60周年の節目である本年、秋鹿修理事長のリーダーシップのもと、今一度創立の精神に立ち返り、強い「信念」のもと、気概と覚悟を持って次の時代を創られること、また地域における貴青年会議所の存在価値を高められることを期待申し上げます。これまで築き上げてこられた歴史を礎としてさらに進化したまちづくりを行っていくことが、先人への感謝を示すこと、また未来への恩送りとなります。

貴青年会議所が60周年を機に、新たな素晴らしい歴史を築かれ、さらなるご発展を遂げられますこと、並びに先輩諸氏の皆様、現役会員の皆様のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



福 森 豊

公益社団法人
日本青年会議所
中国地区協議会
会 長

秋鹿修理事長を始めとされます公益社団法人松江青年会議所メンバーの皆様、そしてこれまで60年間に渡り松江青年会議所と地域に対して様々な方面でご尽力されてこられました特別会員の皆様、創立60周年誠にありがとうございます。今年度、理事長が掲げられた『心・信・真～心のままに信じたことが真実になる～』というスローガンのもと地域の為、市民の為に更なる運動推進をされていることと思います。節目となる本年、これまで歴史を紡いで来られた先輩諸兄や関係各位に感謝し、現役メンバー一人ひとりが地域へ熱い想いをもち、未来が自身に委ねられていることをしっかりと認識して61年目の新たな一歩を進めて頂く事で、地域の活性や青少年の健全育成が大きな実を結びますこと確信致しております。中国地区協議会では2016年度『共感からつながる中国の実現』と言うスローガンのもと活動運動を進めております。現在中国地区内には54の会員会議所があり、そしてその各地に素晴らしい文化や産業、観光資源があります。中国地区内の会員会議所が新たなつながりを持ち、そのつながりが地域と地域のつながりとなり、個々に輝いている各地域の宝がつながることで、更なる価値を持つことができます。多くの地域資源を有し山陰の要港となる地域で活動される松江青年会議所が、中国地区内でも強い信念のもとリーダーシップをとって頂き、地区内の更なるつながりへと導いて頂けるものと信じております。独立自尊の精神と良心が織りなす「心」ある国日本の創造に向けて、様々な運動を推進される松江青年会議所の共感が、地域から日本へ、日本から世界へと拡がり今後も大きな成果を上げられますことを御祈念致しております。



平 下 智 隆

公益社団法人
日本青年会議所
中国地区
島根ブロック協議会
会 長

松江JCは島根のキャピタルLOMとして、常にブロック内の青年会議所運動をリードし続けていただきました。継続的な力強い対外事業や高いレベルの例会運営や研修事業、未来への礎になる地道な青少年事業は青年会議所運動として模範的な活動であり、現在も多くの影響を県内外に与えています。さらに、伝統の松江JC応援団エールにも代表される他者への応援・支援の精神は、あらゆる場面において強さと優しさが融合された心ある行動として今に継承されており、その貢献への感謝は言葉にし得ません。

また、ブロック協議会を始めとする日本JCの運動に対して、創立以来多大なる貢献と協力をいただけてきました。島根ブロック前身の山陰ブロック協議会（1962～1974年）初代会長松崎定夫先輩や島根ブロック協議会（1975年～）初代会長山本隆志先輩を初めとし、県内最多10名ものブロック会長を輩出いただき、ブロック協議会を力強くリードし続けていただき、日本JC本会の議長・委員長や監事等の本会役員も多く出向いただきました。10年前の創立50周年には国際アカデミー in 松江を華々しく開催し、大成功を収められたことは記憶に新しいところであり、また、2018年全国城下町シンポジウム主管を獲得するなど、そのグローバル規模の活躍は著しいものがあります。

「この記念すべき年に松江青年会議所のメンバーであることに感謝し、新たな歴史への1ページを皆さんの力を結集して松江青年会議所に刻みましょう。」と秋鹿修理事長が所信で述べられている通り、創始の精神に肉薄し、その精神を現代に具現化すべく大胆に攻め続ける松江青年会議所でありつづけていただきたい、そう心から願っています。

祝 辞



高見 仁

一般社団法人
広島青年会議所
(スポンサーJC)
理事長

このたび公益社団法人松江青年会議所が創立60周年という記念すべき日を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。1956年に全国で100番目の青年会議所として創立された貴青年会議所は、時代に応じた熱意のある活動を通じて、まちの発展に大いに貢献をしてこられました。これまでまちの礎を築いてこられた先輩諸兄をはじめ、関係各位の弛まぬご活躍とご尽力に対しまして深く敬意を表します。

本年度も松江青年会議所の皆様は、秋鹿修理事長が掲げられる「心・信・真～心のままに信じたことが真実になる～」の基本理念の下、これまで培われてきた先人達の高い志を信じながら、リーダーとしての心を持ち、真に時代に合った組織であり続けるための努力を惜しまず活動されております。今後も青年会議所運動を通じて、メンバー同士が互いにおつかり磨き合い多くの経験を経て本質を見つけ出し、地域の頼れるリーダーとして行動を起こせるひとつづくりを継続されることで、松江青年会議所メンバー皆様の愛する松江のまちがこれからも発展し続けるものと信じております。

このたびの60周年を一つの節目として、新たなスローガン「信念～強い思いが次代を創る、果敢に挑め己を信じて～」の下、益々のリーダーシップを発揮され、地域の発展に対して英知と勇気と情熱をもって松江市民の皆様と共に青年会議所運動に邁進されますことをお祈り申し上げます。

末筆ではございますが、創立60周年を迎えられた公益社団法人松江青年会議所の今後益々のご発展と、皆様のご健勝とご活躍を心より祈念申し上げます。



柴崎 崇

一般社団法人
宝塚青年会議所
(友好JC)
理事長

公益社団法人松江青年会議所が創立60周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。1956年、日本で100番目の青年会議所として創立され、明るい豊かな社会を目指して運動を展開し続けた先輩諸兄のご功績に心からの敬意を表し、また、創始の精神を受け継ぎ日々地域社会に貢献をされておられます現役メンバーの皆様にお祝いを申し上げます。

さて、本年度松江青年会議所は、秋鹿修理事長の素晴らしいリーダーシップの下、「心・信・真～心のままに信じたことが真実になる」のスローガンと共に、まちの未来のために魅力あふれる事業を展開されておられます。水郷祭「松江だんだん」や、創立60周年記念事業「まつえ水都祭2016」の開催、全国城下町シンポジウムへの立候補など、現在の、そして未来の松江のために運動に励まれる姿は、我々宝塚青年会議所にとっても模範とするところであります。そのような貴青年会議所と、かつては宝塚青年会議所の基幹事業である青少年セミナーを共同で開催し、また近年は京都会議での合同LOMナイトの開催と、友情を深める機会を度々いただき、大変喜ばしく感じております。貴青年会議所の熱意あふれるメンバーとの交流は、宝塚青年会議所にとっても大いなる励みとなっております。

今後とも、貴青年会議所と宝塚青年会議所とが互いに切磋琢磨し、より一層の友情が深まりますこと、貴青年会議所の運動が未来に向かって大きく花開くことをご祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



具志堅 興 一

公益社団法人
浦添青年会議所
(友好JC)
理事長

公益社団法人松江青年会議所が創立60周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。創立から今日に至るまでの60年間高い志と熱い情熱をもって松江の地に青年会議所を興され、地域社会の発展にご尽力された歴代理事長をはじめとする諸先輩方の功績に心から敬意を表するとともに、諸先輩方が築き上げてきた実績に満足することなく弛まず前進し続ける秋鹿理事長をはじめとする現役の松江JCメンバーに対して心からお祝い申し上げます。

公益社団法人松江青年会議所と我々との絆の始まりは、1978年に始まった合同事業を通じてお互いの想いを一つに交流をさせて頂き、1981年に友好JCの締結を行いました。近年では、毎年の京都会議にてお互いの友情と絆を確認すると共に親睦を深めさせて頂いております。今後はさらなる友情と絆を合同事業という形でお互いの想い再び一つにしていくことを祈念致します。本年は秋鹿理事長が掲げるスローガン「心・信・真～心のままに信じたことが真実になる～」を活動指針としてすべての会員が松江市のさらなる発展と未来創りに真摯に活動されている事と存じます。お互いの地域がその地域に即したJC活動を邁進することで、共通の理念である「明るい豊かなまちづくり」を実現していると考えております。我々も本年創立45周年を迎えますが、お互いのJC活動がこれからのお互いの地域発展の一助になっていくことを願っております。

最後に、60周年を迎えるにあたり、これから創る歴史の一步を踏み出した公益社団法人松江青年会議所並びに会員の皆様の益々のご活躍とご健勝を心から祈念申し上げお祝いの言葉といたします。



松江JCの原像

昭和31年、松江に青年会議所が生まれた。日本青年会議所創立に遅れること5年、わが国はようやく戦後の混乱期を脱し、新しく経済発展の兆しが見えはじめた時期である。すでに松江の若い世代の交流の場として、松江経友クラブが作られていた。その後、広島JCの強力な働きかけもあって、新たに、全国的な組織の元での青年会議所として再生した。

この時期、松江という閉鎖的な地域社会にあって、JCという外に開かれた青年集団が生まれたことは意義深い。「人の人たる所以は人と人との結合にあります。われわれ松江の若い力が、また、努

力が結びついたなら、必ずや新しい力の満ちた推進力となることを確信いたしております。…JCは政治的に無色であり、あくまでも、ヒューマニティに立脚して、まず友情と訓練によって奉仕への道を開くのであります。われわれは優れた個人であると同時に、秀でた良き団体の一員であらねばと思うのであります。…」

これは、松江青年会議所設立趣意書の一節である。松江JCの創生期ともいべき時代は、この小文に示されているように、友情・奉仕・修練という3つの信条を運動の基本理念としていた。

1956
 ▼
 1960

『人』とのつながりの時代

会員の親睦と交流、福祉事業

 1961
 ▼
 1965

『めばえ』の時代

JCの綱領の制定、「三信条」から社会開発へ、松江市民憲章

昭和31年11月、松江青年会議所が誕生しました。この時すでに、若い世代の交流の場として松江経友クラブが組織されていましたが、広島JCの積極的な働きかけもあり、57名のメンバーで認証番号100番目のロムとして発足しました。基本理念に『修練・奉仕・友情』の3つの信条をおき、人と人とのつながりを重点に会員個人個人の人間としての成長を求めていくことが、スタートしたばかりの松江JCにとっての大きなテーマでした。

昭和35年の創立5周年の記念すべき年に第10回中国地区大会を主管しました。翌昭和36年には『明るい豊かな社会を築きあげよう』という日本青年会議所の綱領が制定され、その後、市政、県政懇談会、討議会、花いっぱい運動などあらゆる社会開発運動を実施しました。そして、松江JCの呼びかけにより昭和40年に「松江市民憲章」が制定されるなど、三信条を基に社会開発運動への意識が芽生えた時期でした。


 1966
 ▼
 1970

『挑戦の時代』

組織固め修了、具体的活動展開

 1971
 ▼
 1975

『主張の時代』

社会との関わり、政治・経済

昭和41年、創立10周年を迎え、「社会と人間の開発」というテーマのもと、市民の共感と信頼を得るため本格的な社会開発運動へ参画を始めました。日本青年会議所の様々な活動に呼応して、松江OAAの結成、交通問題、アンケート調査、チャリティーオークションの開催、成人大学、都市の美化運動などが展開されました。

昭和46年には第20回中国地区会員大会を開催しました。この後、市民の共感と信頼を得ることからさらに新たな活動へと展開し、積極的に政治・経済や行政問題に取り組み、松江JCから意見を発信していくようになりました。かけがえのない郷土シリーズの発刊、中海干拓問題への取り組み、JCスクールの開校、行政改革への問題提起など様々な主張がなされました。昭和48年には、発足当時57名だった会員数も100名を超え、松江青年会議所は社団法人となり、そして昭和50年には宝塚青年会議所と友好JCを結びました。



1976
▼
1980

『具体的行動の時代』

市民と継続事業の発生

1981
▼
1985

『継続事業の時代』

事業・組織・こころの硬直化、事業の見直しへ

昭和51年、創立20周年の記念事業として始められた市民まつり『松江だんだん』は、20年間の社会開発運動と指導力開発運動を体系化した事業として、メンバーをはじめ市民にも強く印象づけた事業となりました。同年にはアメリカ・アーバインJCとの姉妹JCの調印も実現し、従来からの社会開発運動も引き続き発展させる一方、中学生の沖縄洋上セミナーなど青少年の健全育成という『ひとづくり』が展開されました。

昭和56年から60年の松江JCの誕生など、地域に認識される存在となりました。そして、60年代への指針として、『松江市新観光都市を目指し、松江JCは政策行動集団たれ』という提言がなされました。



1986
▼
1990

『まちづくり』の時代

社会開発から「まちづくり」へ／まちの特性・個性・郷土愛

1991
▼
1995

『広域ネットワーク』の時代

松江のまちづくりから広域的なまちづくりへ

創立30周年を迎え、新たなまちづくり運動をスタートし、創立30周年の記念行事として開催した『タウンミーティング・イン松江』をきっかけに『まちづくり懇話会』をしました。また、前年創立された隠岐JCとの交流を通して、会員同士の交流と資質の向上に大きな効果がありました。昭和62年には第36回中国地区会員大会の開催や昭和63年、第14回島根ブロック会員大会なども開催されました。平成元年には市制施行100周年を記念して松江市より事業委託を受け、中学生のヨーロッパ海外派遣等を実施し、内外より高い評価を受けました。その後も『まちづくり、ひとづくり』という大きなテーマを基に、官民一体となった社会開発運動を展開していきました。また、中海・宍道湖淡水化反対運動を展開したのもこの頃でした。

創立35周年に打ち出した『インフィニティーネットワーク構想』に基づき、松江のまちづくりから、中海・宍道湖圏域の広域的なまちづくりへと進んでいきました。平成6年には初の全国規模の大会である『全国城下町シンポジウム松江大会』を主催開催。平成7年には県境をまたぐ米子・境港・安来・松江の4JCによる合同例会の開催。そして平成8年には『4JC中海アクション会議』をスタートさせました。先駆的な『広域ネットワーク』への取り組みが実践された時代です。



1996
 ▼
 2000

『真の価値観』創造の時代

Jaycee としての誇りを持ち、そしてまちづくりから人（こころ）づくりへ

 2001
 ▼
 2005

『改革・融合』の時代

このまちの将来と JC の本質を見つめ直す

創立40周年を迎え、宍道湖・中海圏域の広域的なまちづくりの流れを汲み「連携から融合へ～新和のくにづくり～」を提言し、この地域の新しい価値の創造に向けた活動が展開されました。記念事業として、他の地域との連携を目的にした「松江・宝塚青少年交流」、「天神神輿・琉球國祭太鼓」の開催、「中海・宍道湖圏域ネーミング公募」等、地域のつながりを意識した事業が多く実施されました。この広域化の流れは後の平成の大合併に繋がる布石的な活動となり、徐々に市町村合併に向けた議論が松江JC内部でも活発にされるようになりました。

また、西暦が2000年代になり、平成の大合併により新松江市となった節目のこの時代は、松江JCの在り方についても活発に議論がされました。特に平成12年からは公益法人制度改革を見据えた会計処理や事業運営の改革が実行され、この流れは後に「公益社団法人格取得」という決断に繋がっていきます。


 2006
 ▼
 2010

『継承・進化』の時代

先人に感謝し、志の継承を誓い、公益法人格取得へ向けて新たな一歩を踏み出した

 2011
 ▼
 2015

『脱皮の時代』

組織と人が新たな一歩を踏み出した

創立55周年を迎えた平成23年3月11日、東日本大震災が起り、島根ブロックとして復興支援に多くの会員が向かい、災害と向き合う年としてスタート致しました。周年事業も、地域から復興をという思いから「ヒートフラッグス2011」を行い、松江で活動されている同じ志を持つ同年代の方々と実行委員会を結成し、大規模な事業を実施しました。

平成25年度には、松江市長選挙に併せて公開政策発表会を行い、市民にリーダーを自ら決めて頂く為の、大きな機会を提供しました。

また、平成12年から続けてきた公益法人格移行に向けた活動がようやく実り、平成26年に公益社団法人に移行し、名実ともに公益法人となり、新たな組織として歩み出しました。



歴代理事長とスローガン (※初代～第10代までは日本JCスローガン)

- | | | | | | |
|----|---------------------------------|-----------------------------------|----|--------------------------------|-----------------------------------------|
| 1 | 初代理事長
松崎 定夫 先輩 | 青年の力で新しい社会を | 32 | 第32代理事長
伊原 正人 先輩 | 考えよう 人、街、歴史
調和のとれた 未来社会のために |
| 2 | 第2代理事長
松崎 定夫 先輩 | 世界を結ぶ青年の力 | 33 | 第33代理事長
西村 康 先輩 | エンジョイ JC 企業に 社会に! |
| 3 | 第3代理事長
松崎 定夫 先輩 | 若い力で経済建設 | 34 | 第34代理事長
野々村健造 先輩 | 確かな行動 創ろうひとの心とまちの顔 |
| 4 | 第4代理事長
伊原 周造 先輩 | JCの力で築こう明るい社会 | 35 | 第35代理事長
伊藤 整 先輩 | 時代はJC 自立した
ひと・まち・ところで日本(くに)づくり |
| 5 | 第5代理事長
松崎 定夫 先輩 | JCの一人一人が社会の希望 | 36 | 第36代理事長
安島 壮 先輩 | 「分限から創造へ」
拡げよう21世紀へのWA |
| 6 | 第6代理事長
長谷川潤一 先輩 | JCは明日の世界の道しるべ | 37 | 第37代理事長
古志 勝俊 先輩 | ありますか! まちの危機意識
もってますか! まちの誇りを |
| 7 | 第7代理事長
山久瀬茂夫 先輩 | 経済の正しい成長になえJC | 38 | 第38代理事長
佐藤 尚士 先輩 | MOVE! 松江を愛する人のために |
| 8 | 第8代理事長
皆美 健夫 先輩 | 世界の若さで結べ世界は一つ | 39 | 第39代理事長
昌子 一郎 先輩 | 元気よーく 育もう青年の夢を
うたおう 松江の応援歌 |
| 9 | 第9代理事長
川本 正明 先輩 | 新時代築く若さと指導力 | 40 | 第40代理事長
皆美 佳邦 先輩 | 今 変革のとき 決断と行動
つなげよう 時代と次代 |
| 10 | 第10代理事長
泉 昭夫 先輩 | 福祉国家創るさきが果せJC | 41 | 第41代理事長
神田 幸信 先輩 | “為せば成る!” あふれる若さと情熱で |
| 11 | 第11代理事長
西村 邦彦 先輩 | 10周年を認識しよう | 42 | 第42代理事長
竹田 宏一 先輩 | 第2の創立期 研ごうJCスピリット
創ろう新和のくにづくり |
| 12 | 第12代理事長
野々村 卓 先輩 | JCマンとしての認識を新たにしよう | 43 | 第43代理事長
安達 亨 先輩 | —Guts— 時代を感じて |
| 13 | 第13代理事長
岩田 篤明 先輩 | 行動で示そうJCの力 | 44 | 第44代理事長
景山 直観 先輩 | 一生懸命 ～笑顔と思いやりあふれる
共創社会をめざして! |
| 14 | 第14代理事長
宮脇 正夫 先輩 | JCの英知で拓け松江の未来 | 45 | 第45代理事長
三谷 栄司 先輩 | 堂々と語ろう! わたしたちの夢を
とことん動こう! 未来の子供達のために |
| 15 | 第15代理事長
佐藤 充男 先輩 | Jayceeと市民で築け70年代の松江 | 46 | 第46代理事長
仙田 利夫 先輩 | Link Our Wishes
我々の力で夢をかなえよう |
| 16 | 第16代理事長
泉 完次 先輩 | Jayceeの行動で呼び起そう市民の共感 | 47 | 第47代理事長
杉原 有 先輩 | SOUL魂 JCイズム継承
届け地域へのアグレッシブメッセージ |
| 17 | 第17代理事長
仙田 一恭 先輩 | 豊かな環境、繁栄する社会、
挑戦しよう若い力 | 48 | 第48代理事長
山口 慎二 先輩 | ～このまち きらきら～ |
| 18 | 第18代理事長
山本 隆志 先輩 | 共に考え行動しよう
このかけがえのないふるさとのために | 49 | 第49代理事長
加納 孝通 先輩 | 先見
～CHALLENGE FOR THE FUTURE!～ |
| 19 | 第19代理事長
山久瀬正樹 先輩 | 明日のために
—勇気ある提言、果敢な行動 | 50 | 第50代理事長
後藤ヒロシ(裕志) 先輩 | 感動 感動が、まちの「チカラ」 |
| 20 | 第20代理事長
小西 佐助 先輩 | 示せJaycee若さの資質
総意で築け郷土の未来 | 51 | 第51代理事長
尾崎 俊也 先輩 | 情熱
～Passion, Challenge and Change～ |
| 21 | 第21代理事長
内藤 守 先輩 | 高めよう自立と連帯
踏み出そう新しい一歩を | 52 | 第52代理事長
太田 敦久 先輩 | 大好き この松江 この人 |
| 22 | 第22代理事長
松崎 健二 先輩 | 挑戦しよう意識の改革に
みきわめよう地域の礎を | 53 | 第53代理事長
木村 純子 先輩 | 忘己利他 ～心の通い合う
まちの創造を目指して～ |
| 23 | 第23代理事長
山下 裕國 先輩 | 高めよう連帯と行動力
築こう活力ある故郷を! | 54 | 第54代理事長
池淵 正浩 先輩 | 一致団結 ～このまちから
必要とされるJCを目指して～ |
| 24 | 第24代理事長
荒木文之助 先輩 | 見て聞いて考えて、さあ翔べ松江JC | 55 | 第55代理事長
金見 誠司 先輩 | もう一歩前へ ～強く、そして確かに～ |
| 25 | 第25代理事長
田中竹次郎(征二郎) 先輩 | この時を君がやらねば誰がやる
果敢な行動連帯感 | 56 | 第56代理事長
坪倉 大吾 先輩 | ONE JC
～強い“熱(ねつ)”をこのまちへ～ |
| 26 | 第26代理事長
安井 昭雄 先輩 | 自らに問いかけ共に築こう活力ある松江 | 57 | 第57代理事長
紅花 昌秀 先輩 | 響 ～心に響け郷土への想い!
地域に響け若者の躍動! |
| 27 | 第27代理事長
山下 武之 先輩 | 次なる時代へ
—勇気ある提言、価値ある行動 | 58 | 第58代理事長
天野 正道 先輩 | 万里一空
～明日の松江に向かって歩む～ |
| 28 | 第28代理事長
中澤 強 先輩 | “和”
—築こう集い 拡げよう豊かな心を | 59 | 第59代理事長
田中 康博 先輩 | 息 ibuki 吹 若き情熱を胸に
～すべてはまちの笑顔のために～ |
| 29 | 第29代理事長
泉 謙吉 先輩 | 熱意と行動で築こう
まちのハーモニー | 60 | 第60代理事長
本庄 雅樹 君 | 誰がために
～大局的な視点を持ち地域に耳を傾ける～ |
| 30 | 第30代理事長
竹下 三郎 先輩 | 考えよう信頼と責任
創ろう新時代への架け橋 | 61 | 第61代理事長
秋鹿 修 君 | 心・信・真
～心のままに信じたことが真実になる～ |
| 31 | 第31代理事長
櫻井 誠己 先輩 | 興せ 地域の波 こぎ出そう
新たな時代の出発(たびだち)へ! | | | |

2011
▼
2015

5年間のあゆみ

『脱皮の時代』

～組織と人が新たな一歩を踏み出した～

創立55周年を迎えた平成23年3月11日、東日本大震災が起こり、島根ブロックとして復興支援に多くの会員が向かい、災害と向き合う年としてスタート致しました。周年事業も、地域から復興をという思いから「ヒートフラッグス2011」を行い、松江で活動されている同じ志を持つ同年代の方々と実行委員会を結成し、大規模な事業を実施しました。

平成25年度には、松江市長選挙に併せて公開政策発表会を行い、市民にリーダーを自ら決めて頂く為の、大きな機会を提供しました。

また、平成12年から続けてきた公益法人格移行に向けた活動がようやく実り、平成26年に公益社団法人に移行し、名実ともに公益法人となり、新たな組織として歩み出しました。



第56代理事長
坪倉 大吾 先輩

- ◆日本JCスローガン／徳溢れる心が未来をつくる ともに歩もう 新たなる飛躍へ！
- ◆松江JCスローガン／ONE JC ～強い“熱（ねつ）”をこのまちへ～
- ◆会員数／43名

役員

- ◆直前理事長／金見 誠司
- ◆副理事長／細田健太郎 山岡 達也 秋鹿 修
- ◆専務理事／本庄 雅樹
- ◆理事／津川 幸治 紅花 昌秀 田中 康博 天野 正道 足立 和昭
西村 圭介
- ◆監事／中村 誠 木村 和弘

年末年始、山陰地方を襲いました豪雪被害により2011年度はスタート致しました。そして3月11日には東日本大震災が発生し、津波被害、原発事故、電力節約等未曾有の被害をもたらしました。天災を起因とする被害が数多くあった1年でした。2011年は、「ONE JC～強い“熱（ねつ）”をこのまちへ～」のスローガンのもと、創立55周年関連事業、人間力向上に関わるひとづくり事業、賑わい作りの松江だんだんまつり、組織の進化に関わる公益法人制度改革への取組み、会員拡大等の活動を行いました。

1. 創立55周年に向けて

山陰の青年会議所で初めて55周年を迎えました社団法人松江青年会議所は、これからの未来に向け新しい1歩を踏み出す事業を行いました。5月度例会として創立55周年記念事業「ヒートフラッグス2011」を開催しました。当日は、この地域の“もの”と“ひと”を発信し、3,000名もの多くの来場者の方に松江の魅力新たに発見し体感して頂けたと思います。7月度例会は、3名の歴代理事長をお招きし、お話を頂くことにより過去の功績を振り返る機会となり、改めてこの組織の歴史、大きさ、素晴らしさを多くの会員で認識する良き機会となりました。

2. このまちを明るく元気に

人間力向上委員会では明るく・強く・思いやりの心を高め人間力を向上する為に活動して頂きました。まずは「粋な大人のOMOIYARI講座」を4月度例会として行いました。当日は落語を通して人と人との繋がりや、思いやりの大切さを参加者に改めて認識して頂きました。また、9月度例会として「松江ぐるっと！わがとこかるた」を開催しこの地域の子供

たちに松江の数多い名所を発見し郷土に関心を抱いて頂きました。8月には「だんだん祭り」を、行いました。参加者、来場者に喜んで頂き会場は多くの笑顔に溢れ賑わいの創出が出来ました。

3. 会員拡大の責務

会員拡大推進会議では3月度例会として特別会員と一般の方をゲストにお招きし魅力的な事業についてディスカッションを行い多くのJCの事業、団体そのものに対するご意見を頂きました。会員数の増減につきましては最低目標の15名を下回り7名の入会。又、2名の退会者が出たことは非常に残念でありました。

5. 出向について

本年は（公社）日本青年会議所JC運動発信会議委員及び中国地区協議会財政特別委員会委員及び島根ブロック協議会財政局長として天野正道君をはじめ、8名の会員に出向して頂きました。出向されました会員は自身の英知と情熱をLOM以外の場で発揮するとともに、自身の成長、広範囲での友情が得られたと思います。

6. 情報発信について

本年は総務・広報委員会に多くの情報発信をして頂きました。6月度例会として「ONE JCで情報発信」を開催し、過去の広報、他LOMの広報を学び、これからの有効的な広報の仕方について多くの意見が出されました。これにより例年を大きく越える広範囲の地域、年齢層に対し情報発信が出来ました。

主な活動一覧

例 会 事 業		開 催 日	担当委員会
1月度例会 【対内事業】	賀会例会 思いを一つに『ONE JC』青年たちの強い熱をこのまちに！	1月7日	だんだん委員会
2月度例会 【対内事業】	第151回定時総会 ONE JC になるために	2月17日	総務・広報委員会
3月度例会 【対内事業】	『これから』に向けた意見交換会 ONE JC となるために ～今、松江JCは何を求められ、そして何を指すべきか～	3月9日	会員拡大推進会議
4月度例会 【対外事業】	粋な大人の OMOIYARI 講座 ～江戸しぐさから考える思いやりのところ～	4月19日	人間力向上委員会
5月度例会 【対外事業】	社松江青年会議所創立55周年記念事業 松江HEAT FLAGS 2011 ～松江の魅力ここに在り～	5月15日	55周年実行特別委員会
6月度例会 【対内事業】	6月度例会（勉強会） ONE JC で情報発信	6月16日	総務・広報委員会
7月度例会 【対内事業】	創立55周年 理事長対談 ドリームディスカッション ONE JC！！～“光”績を振り返り新たな熱を生み出そう～	7月21日	55周年実行特別委員会
8月度第1例会 【対外事業】	松江水郷祭（松江だんだん） 湖と緑のフェスタ 松江だんだん 2011 ～笑顔と賑わいをこの町へ～	8月6日～7日	だんだん委員会
8月度第2例会 【対内事業】	第152回定時総会 意思統一へ向けて ONE JC	8月18日	総務・広報委員会
9月度例会 【対外事業】	『松江ぐるっと！わがところカルタ』 ～見つけよう地域の魅力、伝えよう私達の松江～	9月4日、 9月25日	人間力向上委員会
10月度例会 【対内事業】	社団法人 松江青年会議所 創立55周年 記念式典 熱波～伝えよ、輝く未来のために～	10月10日	55周年実行特別委員会
11月度例会 【対内事業】	2011年度社松江青年会議所卒業式	11月20日	総務・広報委員会 子の会
11月度例会 【対内事業】	2011年度社松江青年会議所卒業式祝賀会 強い熱をこれからも、思いをひとつに Go！ Go！ Go！	11月20日	だんだん委員会
12月度例会 【対内事業】	第153回定時総会・渡鍵式 2011年度の“熱”の継承を確実にを行い2012年度へ 向けメンバーの心を響かせよう！	12月8日	総務・広報委員会



松江ぐるっと！わがところカルタ



松江HEAT FLAGS 2011



第57代理事長
紅花 昌秀 先輩

- ◆日本JCスローガン／呼び覚ませ 日本のプリンシプル！
- ◆松江JCスローガン／響 ～心に響け郷土への想い！ 地域に響け若者の躍動！～
- ◆会員数／44名

役員

- ◆直前理事長／坪倉 大吾
- ◆副理事長／田代 緯 細田 健太郎 本庄 雅樹 平塚 洋介 秋鹿 修
- ◆専務理事／足立 和昭
- ◆理事／鍛冶 美加 久末 智美 田中 康博 天野 正道 西村 圭介
福島丈太郎 寺本 聖也
- ◆監事／木村 和弘 山岡 達也

2012年は、今年の漢字一文字に「金」が選ばれた様にさまざまな分野で、多数の金字塔が打ち立てられた一年でもありました。スポーツ分野では、ロンドンオリンピックにおいて、日本史上最多となる38個のメダルを獲得。社会分野においては、自立式電波塔として世界一の高さ634メートルを誇る東京スカイツリーが開業し文字通りの金字塔となりました。このような出来事のあった2012年でしたが、「響～心に響け郷土への想い！地域に響け若者の躍動！～」のスローガンのもと「まちづくり」「ひとづくり」「賑わいづくり」「仲間づくり」を中心に各事業に取り組ませていただきました。

1. 新たな松江の創造

4月度例会にて新松江市の新たなまちづくり「見直そう！我らの郷土松江への思い！」と題して委員会が調査研究してきた松江の新たな魅力である海岸部について発表し、メンバーに郷土「松江」について新たな気づきを得ました。そして、7月度例会では、市民の皆様に向けて新たな「松江」創造事業として～来て、見て、感じよう！～松江の魅力「海」再発見を開催いたしました。当日は、多くの一般市民の方々に参加頂き、松江市の魅力である「海」について「干物作り体験」や、サザエご飯やベ貝のすまし汁を食べてもらい、水産加工産業や、自然環境を守っていく必要性を、実際に見て感じていただきました。

2. ひとづくり

今年度は、ひとづくり委員会にて、5月度担当例会において「JCキッズ2012 たいいく教室」を行いました。普段触れる機会の少ないスポーツ種目を体験してもらうことで、興味関心の幅を広げ、郷土や将来について考える良い機会となりました。

3. 賑わいの創出

今年も松江水郷祭「だんだん祭り」をだんだん委員会にて行いました。参加される全ての人々の笑顔を引き出す事、松江の魅力を来場者に伝える事を目的に設営しました。「だんだん特設ステージ」をはじめとするブースを設営し、多くの方々に参加をして頂きました。そして、参加された多くの方々の笑顔を引き出す事が出来ました。

4. 積極的な情報発信

本年は、総務・広報委員会により多くの情報を発信して頂きました。従来の新聞やホームページ等での広報に加え、フェイスブック等の新たな手法も取り入れ、人々の心や地域に響き渡らせることができたのではないかと思います。

6. 会員拡大とメンバー個々の能力と意識の向上

現在の会員数はピーク時のおよそ1/3の人数まで減少しています。今年度は組織活性化委員会にて会員拡大と新入会員への研修はもとよりメンバーの能力と意識の向上を担ってもらいました。3月度例会においては、「事業継承」～継ぐだけでなく、その先を目指せ～と題して経営講演会を開催いたしました。この事業を通じて7名の仲間が新たに加わりました。

7. 出向について

本年度は、公益社団法人日本青年会議所の委員として新宮君、本庄君、天野君をはじめとして、非常に多くのメンバーに出向していただきました。また、今年度は6JC経済文化交流会の会長として田中康博君をはじめ3名に出向して頂き中海・宍道湖園域という広域的な枠組みでのメンバーの交流を図ることもできました。

主な活動一覧

例 会 事 業		開 催 日	担当委員会
1月度例会 【対内事業】	賀会例会 ～心に響かせろ我々の考動を～	1月6日	だんだん委員会
2月度例会 【対内事業】	第154回定時総会 響け！松江JC ～ ONE JC からの挑戦～	2月16日	総務・広報委員会
3月度例会 【対外事業】	松江JC経営講演会 「事業継承」～継ぐだけでなく、その先を目指せ～	3月7日	組織活性委員会
4月度例会 【対内事業】	新松江市の新たなまちづくり 見直そう！我らの郷土（ふるさと）松江への思い！	4月19日	松江創造委員会
5月度例会 【対外事業】	JC キッズ2012 たいいく教室 知ろう過去、ふれよう現在、そして未来へ	5月22日	ひとづくり委員会
6月度例会 【対内事業】	6月度例会 呼び覚ませ 松江JC のプリンシプル！	6月16日	だんだん委員会
7月度例会 【対外事業】	松江JC 新たな「松江」創造事業 来て、見て、感じよう！松江の魅力「海」再発見！！	7月15日	松江創造委員会
8月度第1例会 【対外事業】	松江水郷祭（松江だんだん）湖と緑のフェスタ 松江だんだん2012 ～魅せよう松江の魅力を！響かせよう人々の心へ！～	7月28日～29日	だんだん委員会
8月度第2例会 【対内事業】	第155回定時総会 2012年、今日までの歩みそして明日の響へ！松江青年会議所再発進！！	8月23日	総務・広報委員会
9月度例会 【対外事業】	「9月度例会及び9月度委員会事業（水燈路関連事業）」 松江怪談伝説～ようこそ八雲の世界へ誘い～	9月22日	ひとづくり委員会
10月度例会 【対内事業】	社団法人松江青年会議所 第56回JCデー 響け！郷土愛～受け継ごう松江への思い～	10月5日	組織活性委員会
10月委員会事業 【対外事業】	これからの「松江」まちづくり提案事業 響かそう！我らの郷土（ふるさと）松江への思い！	10月28日	松江創造委員会
11月度例会 【対内事業】	2012年度（初）松江青年会議所卒業式 感謝！～仲間と響き合ったあの日、この時～	11月18日	総務・広報委員会 丑の会
11月度例会 【対内事業】	2012年度（初）松江青年会議所卒業式祝賀会 JC愛！感動と誇りを胸にその先へ	11月18日	だんだん委員会
12月度例会 【対内事業】	第156回定時総会・渡鍵式 2012年度“響”から2013年度「万里一空～明日の松江に向かって歩む」！	12月13日	総務・広報委員会



松江JC経営講演会「事業継承」～継ぐだけでなく、その先を目指せ～



呼び覚ませ 松江JCのプリンシプル！



第58代理事長
天野 正道 先輩

- ◆日本JCスローガン／新しい時代への燈火となれ!
- ◆松江JCスローガン／万里一空 ～明日松江まちに向かって歩む～
- ◆会員数／49名

役員

- ◆直前理事長／紅花 昌秀
- ◆副理事長／田中 康博 細田健太郎 平塚 洋介 足立 和昭
- ◆専務理事／秋鹿 修
- ◆理事／久末 智美 飛田 武志 山崎 敦也 本庄 雅樹 権田 友和
西村 圭介 野白 祐史 福島丈太郎
- ◆監事／木村 和弘 田代 緯 山岡 達也

2013年の漢字一文字は「輪」でしたが、松江青年会議所全員が大きな輪となり、強固な繋がりが生まれ、運動の原動力になったのではないのでしょうか。2013年は、万里一空～明日の松江（まち）に向かって歩む～のスローガンのもと、「ひと・まちづくり」、「賑わい」、「会員拡大」等各種事業に取り組みました。

1. 松江の明るい未来に向けて

4月度は、松江市長選挙公開政策発表会を開催しました。今までの松江市長選挙では初めて、現役の松江市長も参加し開催することができました。設えや進行には課題も残りましたが、松江にとって大きな一歩を踏み出すことができました。5月度は、JCキッズ2013『はたらキッズ大作戦!』と題して、青少年対象事業を行いました。複数日にわたり、販売体験などを通じて、いろいろな人とのコミュニケーションを醸成できました。7月度は、輝け!ひと☆まち☆松江～奉仕の心で松江に友情の輪を～と題し、全年齢対象で開催しました。あいにく、記録的豪雨により途中で事業は中止になりましたが、松江城の清掃状況は新聞でも取り上げられ、商工会館ではドミノを通じて参加者がひとつになりました。

2. 賑わいの創出

8月度は、夏の一大イベント、松江水郷祭「松江だんだん」を開催しました。ステージイベントでは、参加した市民が楽しめるイベントを数多く行いました。また今年は「GO! GO! D2グランプリ」を別会場で開催し、非常に盛り上がりました。来年以降のイベント開催に新たな可能性を開きました。これからは松江だんだんは、夏の風物詩として市民は心待ちにしています。

3. 会員倍増に向けて

本年度は、45人スタートとなりました。松江青年会議所の運動を展開していくためにはあまりにも少ないとしか言い様がありません。過去拡大に効果がみられた手法を沢山取り入れ、委員会の粘り強い拡大のおかげで2013年度は16人の優秀なメンバーの拡大に成功しました。

4. 松江青年会議所会員として

本年度は研修事業に対し特に厳しく行ってもらいました。しかしながら1名の脱落者もなく全員が入会できたのは、石川委員長をはじめとする委員会のフォローのお陰であると思います。またメンバーに対しても、4月度例会では野々村先生をお招きし勉強することができました。

5. 出向について

本年度も多くの皆様に出向いただきました。公益社団法人日本青年会議所には、副委員長として新宮寛人君をはじめとし、多くのメンバーに出向いただきました。出向は多くの場面を通じて、経験や学び人の輪など得たものは一生の財産となります。この経験を、松江青年会議所や社業に還元していただく事をお願いします。

6. 情報発信について

情報発信として、HPのアップを非常に素早く行ってもらいました。また、FBは多くの人々へ情報を発信できるツールです。SNS媒体は更新してこそそのツールです。また、市長選挙後に理事長対談として松浦市長と対談し、広報として発信することもできました。

主な活動一覧

例 会 事 業		開 催 日	担当委員会
1月度例会 【対内事業】	1月度例会（賀会例会） 一致団結して明日の松江に向かって歩もう！	1月9日	松江だんだん委員会
2月度例会 【対内事業】	2月度例会 第157回定時総会及び懇親会 つなごう、全員で棒を！そして歩みだそう、明日の松江に向かって	2月21日	総務・広報委員会
3月度例会 【対外事業】	3月度例会・松江JC地域づくり講演会 「松江を元気に！まいどスピリッツに学ぶ」	3月19日	松江の宝発掘委員会
全体事業 【対外事業】	平成25年度松江市長選挙 公開政策発表会 明日の松江のリーダーを自ら選ぼう！	4月9日	—
4月度例会 【対内事業】	4月度例会・勉強会 明日の松江を強く牽引するリーダー育成～指導力向上のきっかけを掴み考動する	4月18日	人財育成・研修委員会
5月度例会 【対外事業】	5月度担当例会 JCキッズ2013 はたらキッズ大作戦！ 学んで作って、やってみよう！	5月5日	地域の活力向上委員会
6月度例会 【対内事業】	6月度例会 明日の松江のために振り返る歴史	6月15日	松江だんだん委員会
7月度例会 【対外事業】	7月度担当例会 輝け！ひと☆まち☆松江～奉仕の心で松江に友情の輪を～	7月15日	人財育成・研修委員会
8月度第1例会 【対外事業】	「松江水郷祭（松江だんだん）湖と緑のフェスタ 松江だんだん2013 笑顔！熱気！松江のまつりを感じよう！	8月3日～4日	松江だんだん委員会
8月度第2例会 【対内事業】	8月度第2例会・第158回定時総会 ReStart JCI Matsue！ 明日の松江に向かって駆け抜けよう！	8月22日	総務・広報委員会
9月度例会 【対外事業】	9月度担当例会（水燈路関連事業） 松江怪談伝説～小泉八雲が愛した松江～	9月22日	地域の活力向上委員会
10月度例会 【対内事業】	10月度例会 第57回JCデー 想いをひとつに～万里一空の境地へ～	10月8日	松江の宝発掘委員会
11月度例会 【対内事業】	11月度例会・2013年度（社）松江青年会議所卒業式 行こう！輝く明日へ～共に歩んだ想いを胸に	11月27日	人財育成・研修委員会
11月度例会 【対内事業】	2013年度（社）松江青年会議所卒業式祝賀会 感動！感謝！さあ、次の一步を歩み出せ！	11月27日	松江だんだん委員会
12月度例会 【対内事業】	12月度例会 第159回定時総会・渡鍵式 『継承』～「万里一空」の想いを「息吹」へとつなぐ～	12月12日	総務・広報委員会



平成25年度松江市長選挙 公開政策発表会



輝け！ひと☆まち☆松江～奉仕の心で松江に友情の輪を～

主な活動一覧

例 会 事 業	開 催 日	担当委員会	
1月度例会 【対内事業】	1月度例会 (賀会例会) 一致団結！！すべてはまちの笑顔のために！	1月9日	郷土愛育成委員会
2月度例会 【対内事業】	2月度例会 第160回定時総会及び懇親会 若き情熱を胸に歩みを進めよう～新しい息吹へ～	2月20日	総務・研修委員会
3月度例会 【対内事業】	3月度例会 鳥根ブロック協議会会長公式訪問例会 鳥根の地より「たくましい国」日本の創造に向かって	3月20日	広報戦略委員会
4月度例会 【対外事業】	4月度例会 松江JC シンポジウム (対外) 「松江の可能性をカタチに！」～交流人口拡大を目指した街づくり～	4月12日	会員発掘委員会
5月度例会 【対外事業】	5月度例会 マツエ・スプリングフェスタ 2014in こどもまつり ～五感で感じ笑顔で作る 松江の魅力再発見～	5月5日	松江だんだん委員会
6月度例会 【対内事業】	6月度例会 まちの笑顔のために振り返る青少年事業	6月21日	郷土愛育成委員会
7月度例会 【対外事業】	7月度例会 松江JC 異業種交流会 人脈は一生の宝物 ～地域で広がる新たな繋がり～	7月17日	会員発掘委員会
8月度第1例会 【対外事業】	松江水郷祭 (松江だんだん) 湖と緑のフェスタ 松江だんだん 2014 ～息吹け！輝く笑顔！～	中止	松江だんだん委員会
8月度第2例会 【対内事業】	8月度第2例会 第161回定時総会及び懇親会 繋げよう！今後の運動に！	8月22日	総務・研修委員会
8月度委員会 事業 【対外事業】	松江水郷祭 (松江だんだん) 湖と緑のフェスタ 松江だんだん 2014 ～息吹け！輝く笑顔！～	8月30日	松江だんだん委員会
9月度例会 【対外事業】	9月度例会 JC キッズ 2014「GOGO！スマイルキャンプ」 ～山だ！海だ！自然にふれて、しぜん笑顔～	9月20日～21日	郷土愛育成委員会
10月度例会 【対内事業】	10月度例会 第58回JC デー 息吹け！熱き想い～軌跡とともに～	10月1日	会員発掘委員会
10月度委員会事業 【対外事業】	松江怪談伝説 「怖い」を楽しもう 怪談のふるさと・松江	10月26日	広報戦略委員会
11月度例会 【対内事業】	11月度例会・2014年度 (公社) 松江青年会議所卒業式 羽ばたけ！未来へ～若き情熱の軌跡	11月27日	郷土愛育成委員会
11月度例会 【対内事業】	2014年度 (公社) 松江青年会議所卒業式祝賀会 羽ばたく仲間へ感謝！松江JC の誇りを胸に	11月27日	松江だんだん委員会
12月度例会 【対内事業】	12月度例会 第162回定時総会・渡鍵式 「息吹」から「誰がために」繋げよう！	12月11日	総務・研修委員会



松江JC シンポジウム



JC キッズ 2014 「GOGO！スマイルキャンプ」



第60代理事長

本庄 雅樹 君

- ◆日本JCスローガン／美しく先駆けよう！ すべては未来を生きる人のために
- ◆松江JCスローガン／誰がために ～大局的な視点を持ち地域に耳を傾ける～
- ◆会員数／49名

役員

- ◆直前理事長／田中 康博
- ◆副理事長／細田健太郎 石川 弘司 秋鹿 修 西村 圭介
- ◆専務理事／古藤 雅之
- ◆理事／持田 寿人 梶谷 浩志 宮脇 大祐 権田 友和 福島丈太郎
新宮 寛人 足立 和昭 野白 祐史
- ◆監事／渡部 康行 天野 正道 平塚 洋介

2015年度世界に目を向けるとISによる各地でのテロ事件に代表される地政学リスクが際立ち、これに伴い中東方面から欧州へ流入した難民問題、世界的な原油安、中国経済の下振れなどの変動要因がありました。日本国内においては『食』の安全、『住』の安全を脅かす企業による不祥事、新国立競技場、五輪エンブレム盗作問題などの暗い出来事もありましたが、箱根駅伝で青山学院大学の大学新記録での初優勝、ラグビーW杯での歴史的3勝、松江城の国宝化等の明るい出来事もありました。メンバーの若返りが進む中で次代を担う人材の育成を考え、「誰がために ～大局的な視点を持ち地域に耳を傾ける～」を掲げました。また、本年より公益社団法人としての運動が本格的に始まりました。

1. 山陰を牽引するLOMとしての創立60周年を前に

(公社)松江青年会議所は、山陰で初めて60周年を迎えます。その前年である本年、JCビジョン委員会が中心となり、4月に勉強会、7月に例会を開催し、創立60周年及びその後の65周年を見越した『松江JCビジョン・松江JCミッション』を策定しました。

2. この地域に元気と明るい未来を

4月度例会『JCキッズ2015 松江楽がきキッズ』では親子54名に参加していただき、楽がきコーディネーターのタムラカイ氏を講師にお招きして楽がきを通して親子のコミュニケーションの図り方、絵を描く楽しさを学んでいただきました。9月度例会『JCキッズ2015 チームでミッション・DAN-DAN キャンプ』では2日間のキャンプを通して、参加した児童はコミュニケーションの取り方を学び、相手を思いやる行動ができる様になりました。

3. 賑わいの剔出

今年の水郷祭松江だんだんは会場を移転しての開催となりました。松江城国宝記念を祝して2日目の花火が1万発になったこともあり、会場には多くの方が詰め掛け大盛況でまつりを終える事が出来ました。笑顔あふれる賑わいを創出することを目的として開催させていただいた中で、様々なブースで水郷の都「松江」の魅力や、古き良き祭りの良さ、郷土の良さを感じていただく機会を提供することが出来ました。会場移転という大きな変化があった中で、全体を通して大きな事故もなく無事開催することが出来たのは設営メンバー、関係団体、会場移転先の地元自治会など多くの方々の協力があったことだと思います。

4. 公益社団法人として

2014年10月1日に公益社団法人へ移行し、2015年度は公益社団法人として本格的に始まる1年でした。事業を進めていく中で幾多の問題点が生じましたが、福島事務局長が中心となり、法人格移行に携わっていただいた先輩や歴代事務局長のお力添えをいただいたことで乗り越えることができました。

5. 出向者支援について

2015年度は、日本青年会議所をはじめ、総勢11名のメンバーに出向していただきました。特に、天野正道君には日本青年会議所監事として出向していただき、LOMの看板を背負って国内外とご活躍されました。多くのLOMに松江青年会議所を知っていただくこともできました。また、多くの出向者が責任感を持って役割を全うされ、出向先で様々な研鑽を積まれた事と思います。

主な活動一覧

例 会 事 業		開 催 日	担当委員会
1月度例会 【対内事業】	1月度例会 (賀会例会) 思いを一つに新たなスタートを歩みだそう!	1月9日	松江だんだん委員会
2月度例会 【対内事業】	2月度例会 第163回定時総会及び懇親会 誰がために進む～継承のバトン60～	2月19日	総務・広報委員会
3月度例会 【対内事業】	3月度例会 脚下照顧～己を見つめ直し、JCを知り、未来へ繋げよう!～	3月14日	会員力向上委員会
4月度委員会事業 【対内事業】	JC ビジョン勉強会 継往開来!～我々のあるべき姿に向けて～	4月7日	JC ビジョン委員会
4月度例会 【対外事業】	4月度例会 JCキッズ2015 まつえ楽がきキッズ 楽しく描こう!松江の魅力	4月19日	地域創像委員会
5月度例会 【対内事業】	5月度例会 広報の方法、こんな方向!～過去から未来へ～	5月21日	総務・広報委員会
6月度例会 【対外事業】	6月度例会 松江JC経営力・指導力講演会 知行合一～魅力溢れる「ひと」へ	6月19日	会員力向上委員会
7月度例会 【対内事業】	7月度例会 Positive change!! ～我々のあるべき姿に向けて～	7月16日	JC ビジョン委員会
8月度第1例会 【対外事業】	松江水郷祭 (松江だんだん) 湖と緑のフェスタ 松江だんだん2015 ～笑顔あふれる郷土の祭り～	8月1日～2日	松江だんだん委員会
8月度第2例会 【対内事業】	8月度第2例会・第164回定時総会 勇往邁進～誰がために進む～繋げよう!今後の運動に!	8月20日	総務・広報委員会
9月度例会 【対外事業】	9月度例会 JCキッズ2015『チームでミッション・ DAN-DAN キャンプ』 つなげよう!想いやりと友情の輪	9月21日～22日	地域創像委員会
10月度例会 【対内事業】	10月度例会 第59回JCデー 感恩戴徳～60周年に向けて～	10月1日	JC ビジョン委員会
10月度委員会事業 【対外事業】	松江怪談伝説 怪談～KWAIDAN～息づくまち松江	10月17日	松江だんだん委員会
11月度例会 【対内事業】	11月度例会・2015年度(公社)松江青年会議所卒業式 承前啓後～よりよい未来に向かつて～	11月22日	会員力向上委員会
11月度例会 【対内事業】	2015年度(公社)松江青年会議所卒業式祝賀会 百花繚乱～志高く踏み出そう!松江青年会議所の英知と友情を胸に～	11月22日	JC ビジョン委員会
12月度例会 【対内事業】	12月度例会 第165回定時総会・渡鍵式・懇親会 「誰がために」から「心・信・真」へ	12月10日	総務・広報委員会



松江だんだん2015



JCキッズ2015『チームでミッション・DAN-DAN キャンプ』



記念式典・祝賀会

とき/2016年10月1日【土】

ところ/ホテル一畑平安の間

記念事業

記念講演

とき/2016年10月1日【土】

ところ/ホテル一畑サンシャインホール

まつえ水都祭2016

とき/2016年9月3日【土】

ところ/松江宍道湖岸公園、夕日スポット周辺、宍道湖湖上



■2016年10月1日【土】 ■ホテル一畑平安の間

1. レセプション
2. 開会宣言
3. 国歌斉唱
4. JC ソング斉唱
5. JCI クリード唱和
6. JCI ミッション並びに
JCI ビジョン唱和
7. JC 宣言朗読並びに綱領唱和
8. 松江JC ビジョン並びに
松江JC ミッション唱和
9. 物故会員追悼
10. 来賓紹介
11. 来訪JC 紹介
12. 理事長挨拶
13. 来賓祝辞
14. 祝電披露
15. スポンサー JC への感謝状贈呈
16. スポンサー JC からの記念品拝受
17. 第56～60代理事長への感謝状贈呈
18. 次代の松江に対する提言
19. 閉会宣言

記念講演に引き続き、ホテル一畑平安の間にて、公益社団法人松江青年会議所創立60周年記念式典を執り行いました。オープニングレセプションとして、松江鑿行列保存会の皆様による、400年の歴史と文化を継承した鑿の演奏で、来場者を歓迎いたしました。

そして、西村実行委員長による開会宣言では、「この一年、今一度、創立の精神に立ち返り、松江の未来について真剣に考えた成果を、本日皆様にお示します」と、力強く記念式典の開会を宣言しました。

理事長あいさつでは、第61代 秋鹿理事長より、ご来賓の皆様をはじめ、先輩諸兄や関係各位へ感謝の気持ちを伝えました。さらに「青年会議所運動が出来るのは、家族や社員、先輩諸兄のお陰であり、松江JCのメンバーであることは幸せなことである」と、重ねて感謝の意を伝えました。

また、スポンサーJCであります、(一社)広島青年会議所へ感謝状を贈り、感謝の意を表しました。(一社)広島青年会議所からは記念品を拝受し、今後ますます友情を育むこととお約束しました。そして、2011年～2015年の歴代理事長の皆様には感謝状を贈り、坪倉大吾先輩より、ご祝辞と激励のお言葉を頂戴いたしました。

「時代の松江に対する提言」では、我々の信念を来場者へ示すべく、常任理事により6つの提言を発表しました。

この記念式典を通じて、永年に渡る先輩諸兄の功績に、心からの感謝の意を伝え、65周年、70周年、更には100周年へと、強い信念をもって果敢に挑み、更なる飛躍を誓うことができました。



来賓祝辞 溝口善兵衛様



理事長挨拶 秋鹿 修 君



開会宣言 西村圭介 君



56～60代理事長へ感謝状贈呈



松江鑿行列保存会によるオープニングレセプション

次代の松江に対する提言

① 松江JCビジョン・ミッション

松江青年会議所は、多くの縁ある皆様のおかげで、創立60周年を迎えることができました。そこで、65周年に向けて、この5年間の運動の指針となる、松江JCビジョン・ミッションを策定いたしました。半世紀以上にわたる先輩諸兄の運動を受け継ぎ、より素晴らしい町にするため、松江青年会議所にしかできない、運動を展開してまいりたいと思います。松江に関わる全ての人が松江をさらに愛せるよう、運動を展開してまいります。

② 強い信念の醸成

未来がどうなるかは誰にもわかりません。しかしながら、未来を託されている私たち青年が想いを持って行動しなければ、このまちの未来がないことは明らかです。私たちはその使命に臆することなく、未来に対し、自分を信じて、果敢に挑んでいかなければなりません。

そして、私たちだけでなく、このまちの人々もまた、未来に対して、想いを持って行動してもらわなければなりません。そのためには原動力となる強い「信念」を醸成することが必要不可欠です。私たちはこのまちの人々の次代を想う、強い「信念」を醸成することを目指し、これからも運動を展開して参ります。

③ 水都松江の創造

「水都松江」松江には宍道湖という雄大な自然、観光資源が存在します。昔からその宍道湖や松江城を守ってきた堀川など、水と共存してきたまちであったことから、「水都」と呼ばれ人々に親しまれてきました。一昔前では宍道湖に人が集い、生活の近くに水辺が存在しました。しかし、高度経済成長の時代に入り、生活排水等による水質悪化が深刻化し、人々は水辺から離れていきました。近年ではかなり水質も改善し、人が泳げるレベルにまで改善しました。

そこで、我々松江青年会議所は、市民の誇りである宍道湖を、もっと市民の近くに感じていただくために、9月3日に記念事業として「松江水都祭2016」を開催し、多くの市民の皆様へ、更なる宍道湖の魅力を体感して頂きました。そして、今後も松江青年会議所は、この宍道湖や松江の水辺の魅力を活かしながら、まちづくりを創造していきます。

④ 賑わいと環境の協創

私たち松江青年会議所は、毎年、「水郷祭」の協賛イベントとして、「松江だんだん祭り」を運営しています。近年では、参加者の増加に伴い、ゴミのポイ捨てや、ゴミ全体の排出量も増えつつあり、これを問題として、私たちは捉えました。この大規模な賑わいの裏でのゴミ問題、すなわち、環境問題について、一見相反する

様に思えますが、この二つの課題を高い次元で融合すべく、私たちは行動して行きます。

本年度開催しました、「松江だんだん」におきましては、その第一歩として、テント村に出店頂いた、9団体全ての皆様にご理解とご協力を頂き、試験的にリユースのビールカップを運用して頂きました。

そして今後は、この取り組みを広げ、より多くの協力を仰ぎ、環境というテーマの元、より多くの市民の皆様が祭りに主体的に携わって頂ける様、運動を展開していきます。環境問題に限らず、様々な関わり方で、より多くの市民が主体的な意識を持って祭りに関わることこそが、来場者に感動を与え、「松江だんだん」、ひいては、「水郷祭」全体の更なる盛り上がりにつながることを確信します。

⑤ 歴史と伝統の発信

我々松江青年会議所は、全国の城下町の青年会議所で組織される全国城下町青年会議所連絡協議会、通称「全城連」加盟LOMです。全城連では、年一回、全国の城下町の青年達が一同に会し、地域の人達とともに、地域の持つ可能性を見いだすための機会として「全国城下町シンポジウム」を開催しています。

我々、松江青年会議所は22年前、第13回大会を主管し、大きな賑わいを創出しました。昨年には、行政を中心に、関係団体、市民の努力が実り、松江城天守が国宝指定を受けました。

我々、松江青年会議所はこの好機を逃す事なく、松江城を中心とした更なる縁の広がり、松江の歴史と伝統の発信のため、2018年第37回全国城下町シンポジウムを開催いたします。

⑥ 志の伝播

かつて、松江青年会議所の会員数は100名を越えていました。ときの先輩方は、大胆に、そしてひるむことなく、100名を越える大きな力で、この松江の未来のために真剣に青年会議所運動を展開されてきました。

しかし近年、その会員数は当時の半分以下の44名にまで減少している状況です。地域のための活動をしている松江青年会議所の会員数の減少は、地域活性化の活力の減少に直結します。この松江の地に、思いをもった青年経済人がもっともっと集まり、知恵を出し合っ、共に活動していくことができれば、明るい豊かな社会がかならずや実現できるものと確信しています。

私たち松江青年会議所はこの地域のために、会員数100名の会員拡大を目指し、より一層の地域活性化を実現していきます。

記念祝賀会

■2016年10月1日【土】 ■ホテル一畑平安の間

- | | |
|----------|---------|
| 1. 開会 | 6. 歓談 |
| 2. 理事長挨拶 | 7. 中締め |
| 3. 祝辞 | 8. 若い我等 |
| 4. 鏡開き | 9. 閉会 |
| 5. 乾杯 | |

記念講演、記念式典に引き続き、ホテル一畑平安の間にて、祝賀会を開催致しました。ご来賓の皆様をはじめ、各地会員会議所メンバーの皆様、多くの特別会員の皆様にご出席いただき、我々松江青年会議所の創立60周年を祝っていただきました。

オープニングでは、川津キッズチアリーディングクラブ SPARKLES☆さんの演舞により、華やかに祝賀会の幕開けを飾っていただきました。ゲストとして、松江市で活躍するシンガーソングライター六子さんに、愛する松江の曲を優しい歌声で披露していただき、ご来場の皆様に松江の風情を感じていただきました。

また、松江JCメンバーの演武を交えて、2018年度第37回全国城下町シンポジウム松江大会の開催を、ご来場の皆様にご報告しました。

この祝賀会を通じて、おもてなしの心で皆様をお迎えし、感謝の気持ちをお伝えすると共に、より一層友情を深めることができました。



松江JC佐藤OB会長祝辞



島根ブロック協議会
平下会長による中締め



ご来賓の皆様による鏡開き



西村実行委員長挨拶



川津キッズチアリーディングクラブ
SPARKLES☆によるオープニング



第37回全国城下町シンポジウムの開催を報告



六子によるゲストライブ

■2016年9月3日【土】 ■岸公園、夕日スポット周辺、宍道湖湖上

近年、行政や市民団体が一体となり「水の都松江」に相応しい、賑わいのある魅力的な宍道湖にする動きが高まりつつあります。宍道湖を身近に感じたり、湖の現状を知って頂く体験から、水辺への親しみを感じていただき、今後の宍道湖の水辺活用の普及・定着に繋がるよう、9月3日に創立60周年記念事業として「まつえ水都祭2016」を開催しました。

当日は素晴らしい天候に恵まれ、湖面も穏やかで最高のコンディションで開催することができました。

「SUP体験」や「レッツ！ウォーターボール」では、多くの市民の皆様が気軽に水と親しむ姿を見ることができました。「しんじ湖わくわく広場」では、宍道湖に住む生き物を実際に手で触り体感していただき、参加者からは「初めて触る！」「見たこと無い！」という声も上がっていました。「しじみ漁の体験」や、渡し船に乗って嫁が島に上陸する「しんじ湖クルーズ」、また、「しんじ湖市」では、しじみ汁の無料配布や、宍道湖について学ぶことの出来るブースの出展など、来場者には1日を通じて宍道湖の魅力を存分に感じていただく事ができました。

松江市民としては、毎日目にする宍道湖ではありませんが、私たちにとってまだまだ身近な遊び場とは言えません。今後も松江青年会議所は、この宍道湖や松江の水辺の魅力を更に活かしながら、まちづくりを創造していきます。



しんじ湖わくわく広場



レッツ！ウォーターボール



しんじ湖市



メガ SUP体験

褒賞受賞歴

1966

優秀JC賞受賞

(第15回中国地区会員大会)

市民憲章制定。県民会館建設推進などが評価された。

1968

優秀委員会賞

(第17回中国地区会員大会)

松江OAAの結成などが評価された。

1969

青少年問題最優秀賞

(第18回中国地区会員大会)

「21世紀の文明を創る教育のビジョン」討論会。青少年のためのチャリティショー「宝塚歌劇」などが評価された。

1971

社会開発推進賞最優秀賞

(第20回中国地区会員大会)

交通問題、都市交通問題に対する積極的な取り組みが評価された。

1972

指導力開発優秀賞

(第21回中国地区会員大会)

松江を美しくする運動等を通じて市民の組織化などの活動が評価された。

1973

最優秀賞環境問題賞

(第22回中国地区会員大会)

「水」「緑」「美化」のプロジェクトチームを編成し、市民運動の展開などの活動が評価された。

1973

優秀賞広報活動賞

(第22回中国地区会員大会)

干拓問題の世論喚起、青少年グループの育成などの活動が評価された。

1974

指導力推進最優秀賞

(第23回中国地区会員大会)

JCCスクール開校などが評価された。

1974

広報活動最優秀賞

積極的な対外広報活動を評価された。

1975

最優秀賞広報活動賞

(第24回中国地区会員大会)

かけがえのない郷土シリーズなどの広報活動が評価された。

1976

AOY（青少年計画）推進賞

(第25回中国地区会員大会)

第1回市民のつどい、オリエンテーリング大会、松江市青年団体育成基金の条例化などが評価された。

1976

自治行政推進賞

(第25回全国会員大会)

地方財政見直しキャンペーン、地方財政をテーマにシンポジウム開催などの自治問題への積極的な取り組みが評価された。

1978

おまつり推進賞

(第27回全国会員大会)

「松江だんだん」を通してのコミュニティ作り、市民総参加への働きかけが評価された。

1978

広報活動推進賞

(第27回全国会員大会)

宍道湖大橋の無料化をめざしての対外広報活動など、積極的な対外キャンペーンの展開が評価された。

1980

青少年開発推進賞最優秀賞

(第29回中国地区会員大会)

中学生「沖縄洋上セミナー」を通じてのジュニアリーダーの育成などが評価された。

1981

福祉開発推進賞最優秀賞

(第30回中国地区会員大会)

「松江わたぼうしコンサート」などの活動が評価された。

1984

自由部門最優秀賞

(第33回中国地区会員大会)

12年間にわたる「かけがえのない郷土シリーズ」による地域への提言が評価された。

1987

優秀青年会議所賞

(第36回中国地区会員大会)

30周年記念事業から生まれた、新しい「まちづくり」への発想と、その展開が評価された。

1988

広報活動推進賞

(第37回中国地区会員大会)

まちづくりのためのひとづくり「まちづくりプロジェクト」が、郷土愛の醸成へ向けて「松江余談」を刊行した事が評価された。

1992

地域づくり推進賞

(地区フォーラム)

行政の枠組みをこえた活動としてインフィニティーネットワーク構想を打ち出した事が評価された。

2009

会員拡大事業グループグランプリ

(中国地区第3回会員会議所会議)

年間を通して13名をJCへ入会した事が評価された。

2012

人材育成事業部門優秀賞

(中国地区コンファレンス2012)

「粋な大人のOMOYARI講座」による人材育成について評価された。

2013

人材育成事業部門優秀賞

(中国地区コンファレンス2013)

松江JC地域づくり講演会「地球を元気にまいどスピリッツに学ぶ」の人材育成について評価された。

編集後記

はじめに、公益社団法人松江青年会議所創立60周年記念誌の、原稿依頼にご寄稿頂きました皆様、おかげさまで無事、記念誌を発行することができました。心よりお礼申し上げます。

この記念誌の編集に当たり60年の永きにわたる、たゆまぬ努力と功績を目にし、改めて先輩諸兄の偉大さを感じることができました。紙面の都合上、掲載することができなかった、多くの素晴らしい事業を割愛させていただいたこと、深くお詫び申し上げます。

創立60周年記念誌が、「信念～強い想いが次代を創る、果敢に挑め己を信じて～」のスローガンのもと、明るい豊かな松江の創造の一助となります事を願っています。

最後に記念誌の発行にあたり、編集にご協力頂きました多くの皆様に対しまして、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

公益社団法人松江青年会議所
60周年実行特別委員会

幹事 木村 真澄

松江青年会議所創立60周年記念誌

発行／2016年11月25日

発行所／公益社団法人松江青年会議所
理事長 秋鹿 修
島根県松江市母衣町55-4 7階
TEL (0852) 21-9917
FAX (0852) 26-3119

編集／60周年実行特別委員会

実行委員長：西村 圭介
副実行委員長：持田 寿人
幹事：木村 真澄
副幹事：中村 友樹
副幹事：落合 彰

60th Anniversary

Junior Chamber International Matsue



公益社団法人松江青年会議所

〒690-0886 島根県松江市母衣町55-4

TEL (0852) 21-9917 FAX (0852) 26-3119

URL <http://www.matsuejc.jp>

E-mail info@matsuejc.jp

